

[東郷寺本堂]見学レポート



山門(伊東忠太設計/木造/昭和10年代)



屋根は本瓦葺き

境内側から山門を見る



柱の粽、台輪など禅宗様の形式がとられている



平行垂木だが繁垂木になっている



藁座と棧唐戸(禅宗様の特徴)



台輪と禪宗様の木鼻



妻面は虹梁の上に大きな蛙股が乗っている



懸魚は猪目懸魚の形



礎石の上に石製の礎盤が乗っている(禅宗様の特徴)



床は石の四半敷となっている(禅宗様の特徴)

境内全体(右は本堂、左は客殿他)



本堂

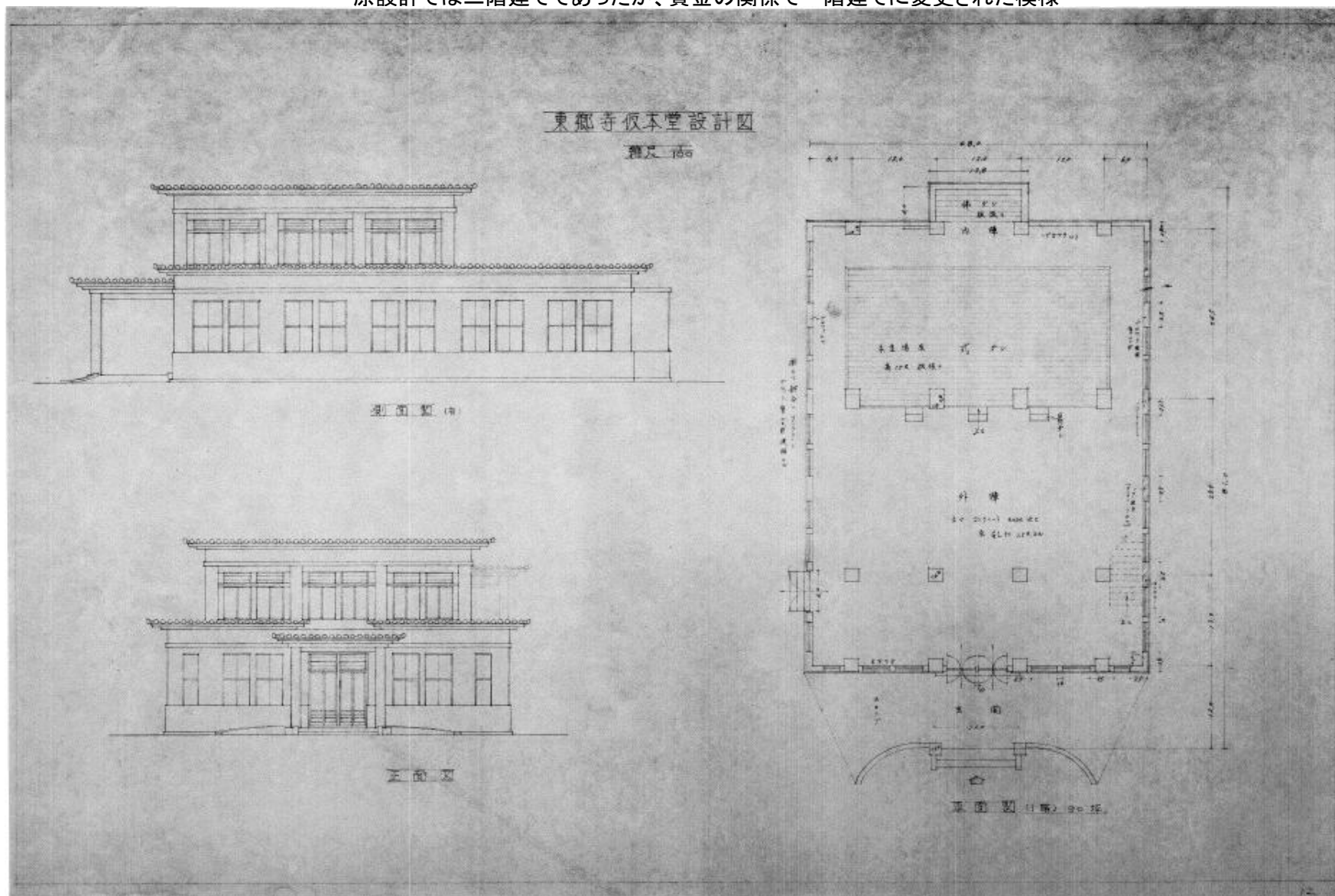


本堂正面



当時は仮本堂として建てられたが資金面などの理由から現在はこれが本堂(多機能施設)として使われている

原設計では二階建てであったが、資金の関係で一階建てに変更された模様



大岡實建築研究所の作品としてはかなり現代建築風のデザインとなっている(監理は施工の大藤建設が担当している)



柱にはタイルが貼られている(見たところ、このタイルと床の石は後年改修の際に施工されたのではないか。柱が太くなっているようにも感じる)







申し訳程度に風鐸が下がっている



軒裏も斗拱・垂木の気分、長押も廻っている

軒反りの気分を出している



変わったデザインの窓



客殿(木造/昭和10年代)









年月	西暦	工事名	所在地	工事期間	助手	構造設計	施工	構造種別
昭和32.10	1957	東郷寺 本堂	東京都 府中市	昭和32.10~34.03	松浦弘二	田口武一	浅海建設・大藤建設	RC造

日蓮宗 聖将山東郷寺



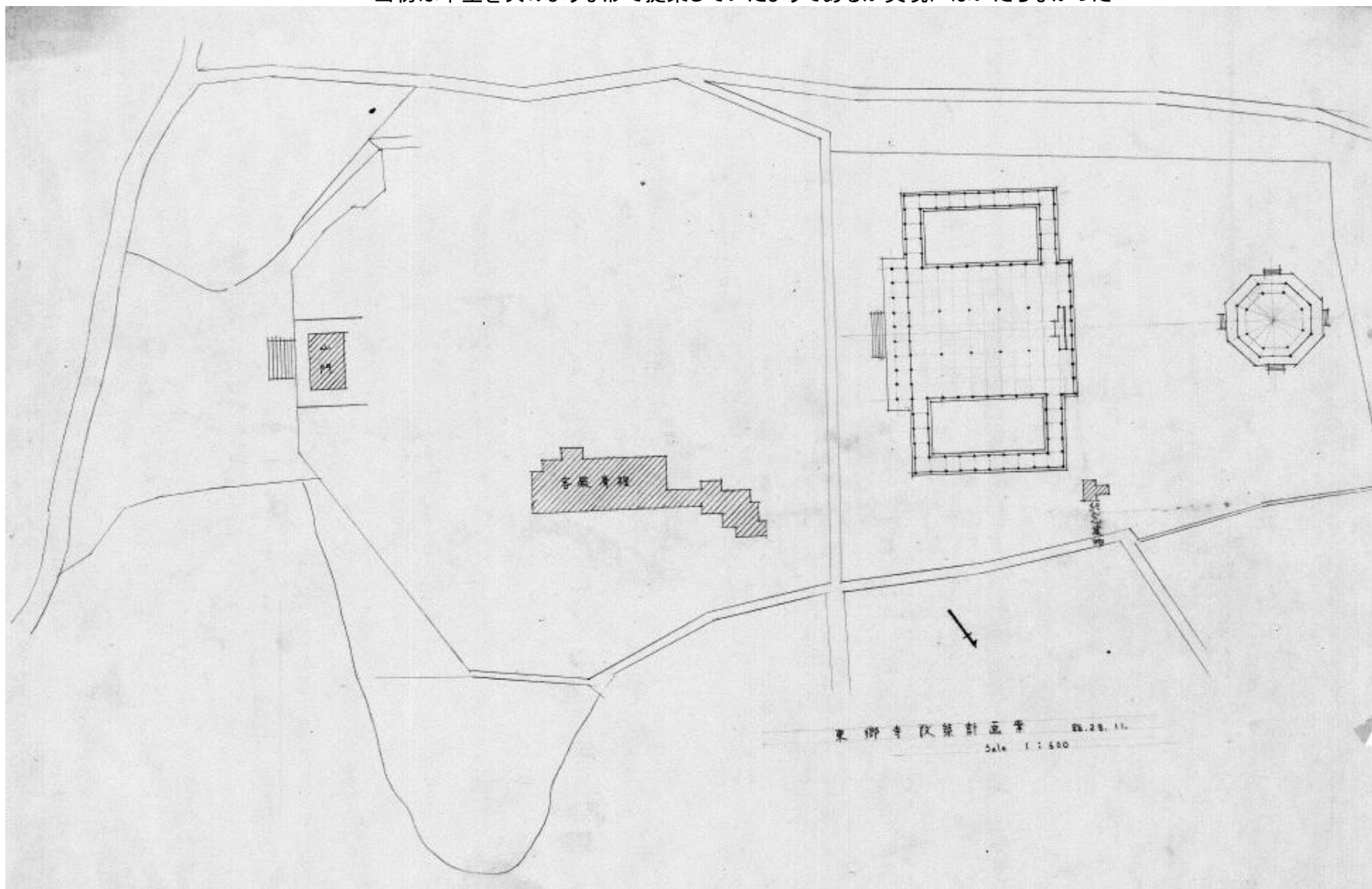
日露戦争日本海海戦で有名な東郷平八郎の別荘があった土地に建立されました。
現在も境内には、東郷平八郎の別荘だった建物が残されています。



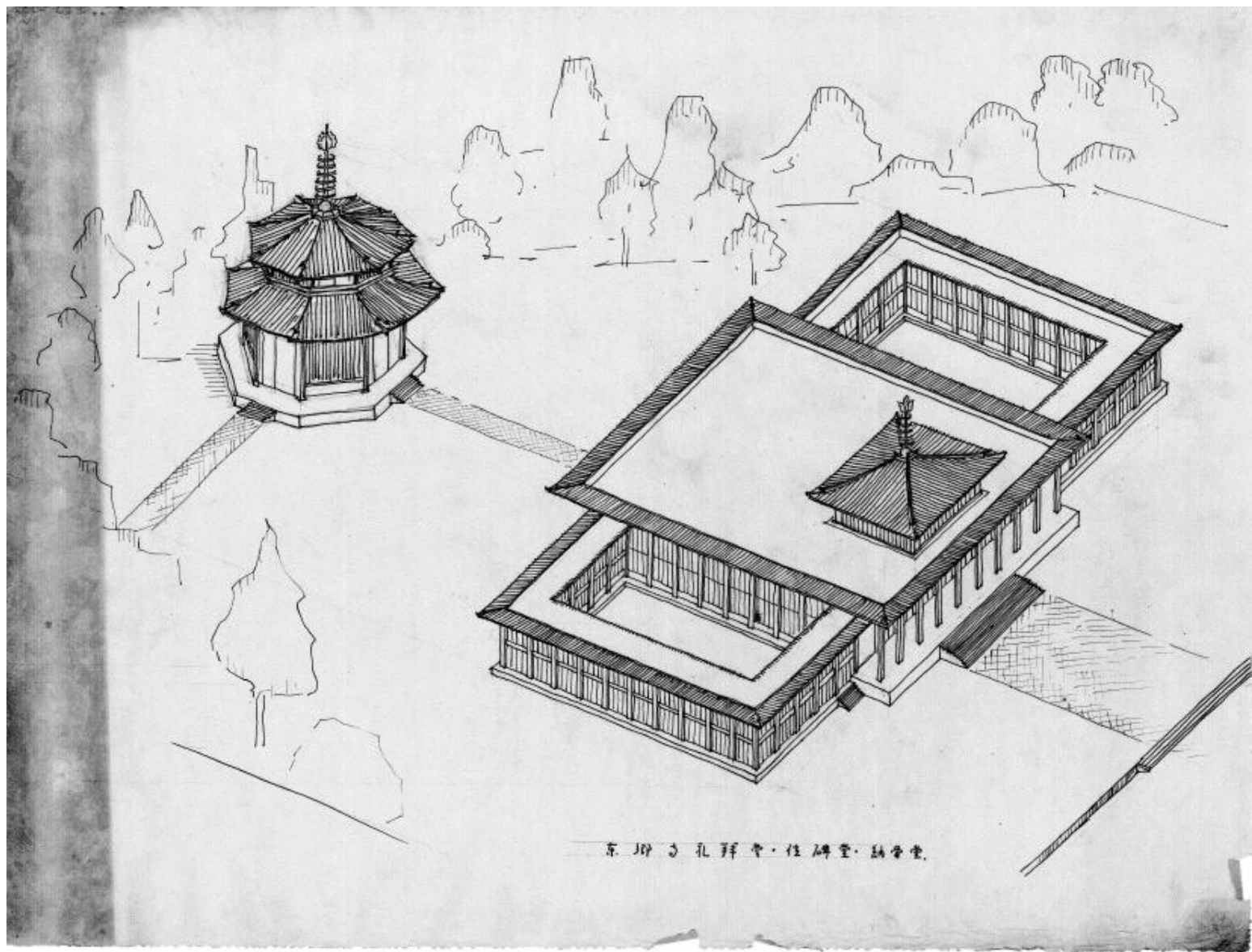
インターネットより

付録

当初は本堂を次のような形で提案していたようであるが実現にはいたらなかった



仮本堂を解体し、奥地に本堂(礼拝堂)と位牌・納骨堂を建立する計画となっている



东 琳 寺 孔 祥 堂 · 性 碑 堂 · 誦 经 堂